

# 心に残る感動的な瞬間を! 楽しさの共有 & 写真上達 決め手はプリントだ!

いつまでも残しておきたい楽しい思い出は、プリントして一冊にまとめ、大切な人に贈ることで、写真の可能性が広がる。写真プリントの楽しさを今回から5回にわたって紹介しよう。



Colorio V-edition  
EP-50V

## 写真を贈る

### 『手づくりフォトブック』で オリジナルカレンダーをプレゼント

#### オリジナルカレンダーが家族の絆を深める

フォトカレンダーを作り、おじいちゃんやおばあちゃんにプレゼントすれば、喜ばれること請け合い。「Epson Creative Print」には豊富なテンプレートが用意され、オシャレなフォトブックも作成できる。



#### スマホでフォトカレンダーが手軽に作れる

パソコンだけでなくスマホ用アプリ「Epson Creative Print」を使えば、スマホの写真からフォトカレンダーがカンタンに作れる。用紙の向きに迷ったら、付属している「お試し普通紙」にプリントして確認しよう。



スマートフォンでレイアウト



プリントをリングで綴じる



好きな所に飾って楽しむ

## 写真をまとめると楽しい思い出が大きく膨らむ!

### エプソン『手づくりフォトブック(マット)』



A5サイズ(24穴)の両面フォトマット紙6枚のほか、綴じひも付き表紙2枚、お試し普通紙2枚、リング1本を同梱。手づくりフォトブック追加用紙も用意され、リングを開いて後からページを追加することもできる。



[epson.jp/products/colorio/guide/photobook/](http://epson.jp/products/colorio/guide/photobook/)

### エプソン『かんたん手づくりブック』



高級感のあるハイグレードタイプはA4たて、A4よこ、それぞれ黒、紺、白の3色を用意し、カバーケースが付属する。カジュアルなスタンダードタイプはA4たて、A4よこ、それぞれ黒を用意。エプソンダイレクトショップのみで取り扱い中。



[epson.jp/supply/bookkit/howto/](http://epson.jp/supply/bookkit/howto/)

## 写真をまとめる『かんたん手づくりブック』で 思い出の写真をアルバムにする

### 思い出の写真をまとめると 楽しかった瞬間が甦る

家族旅行や子どもの成長記録などをフォトブックにまとめることで、いつでもそのときの思い出が鮮明に甦る。表紙用ラベルシートで検索もカンタン。デジタル写真上級者はオリジナル写真集を作っても楽しい。

### A4プリントをまとめて フォトブックを作る

セレクトした写真をA4サイズ用の紙にプリントし、中とじカバーにはさんで製本するだけでカンタンにフォトブックが作成できる。綴じ代を考慮してレイアウトしプリントするのがコツ。表紙用ラベルシートに写真や文字を印刷して貼れば完成だ。



レイアウトしてプリント



中とじカバーにはさんで製本



ラベルシートを貼って完成

思い出の写真はプリントして一冊にまとめ、大切な人に贈ることで、楽しかった思い出がさらに輝きを増す。

思い出の写真はプリントして一冊にまとめ、大切な人に贈ることで、楽しかった思い出がさらに輝きを増す。

また、スマホアプリ「Epson Creative Print」を使用すれば、スマホで撮影した写真でオリジナルのフォトカレンダーがカンタンに作れる。大切な家族の写真を「手づくりフォトブック(マット)」でフォトカレンダーにして、離れて暮らす両親に贈れば、とても喜ばれるだろう。

ただプリントするだけでなく、「かんたん手づくりブック」で一冊にまとめれば、オリジナルの写真集ができあがる。毎年の子どもの成長記録や家族旅行の写真をまとめておけば、いつでも思い出をひも解くことができ、楽しかった瞬間が鮮明に甦る。次回の家族旅行の計画も盛り上がるはずだ。

思い出の写真をプリントすると、楽しかった瞬間が甦ってくるし、大切な思い出こそ高画質なプリンターでプリントしたい。エプソンのColorio V-editionシリーズなら印刷コストが安いので、高画質な写真プリントが気兼ねなく楽しめる。家族そろってプリントすれば話も弾み、楽しさが更に広がるだろう。

思い出の写真をプリントすると、楽しかった瞬間が甦ってくるし、大切な思い出こそ高画質なプリンターでプリントしたい。エプソンのColorio V-editionシリーズなら印刷コストが安いので、高画質な写真プリントが気兼ねなく楽しめる。家族そろってプリントすれば話も弾み、楽しさが更に広がるだろう。

スマートフォン普及により、写真を撮る場面が増えている。子どもの成長記録や家族旅行の思い出、また日常のふとした瞬間まで、簡単に写真に収められるようになった。しかし、モニターで見ているだけではいつの間にか埋もれてしまい、大切な思い出がここで終わってしまう。

思い出の写真をプリントすると、楽しかった瞬間が甦ってくるし、大切な思い出こそ高画質なプリンターでプリントしたい。エプソンのColorio V-editionシリーズなら印刷コストが安いので、高画質な写真プリントが気兼ねなく楽しめる。家族そろってプリントすれば話も弾み、楽しさが更に広がるだろう。

## 思い出をまとめて贈ると 大切な人を笑顔にできる

### 3 用紙選びの自由度が高い！高品位な作品づくりを目指そう

写真用紙〈光沢〉



Velvet Fine Art Paper



#### 用紙選びで作品のイメージが大きく変わる

プリント用紙によって作品の再現性はさまざま。艶やかな写真用紙は高精密で色鮮やかなプリントが可能。テクスチャー加工を施したアート紙なら高品位な作品づくりが楽しめる。写真のイメージに合った用紙選びが重要だ。

#### 展示して作品づくりの醍醐味を味わう



#### 作品を見てもらい写真ライフをステップアップ

納得できる作品が仕上がったら、展示して多くの人に見てもらうことが大切。人に評価されることで、作品づくりに対する姿勢が変わるかもしれない。最終目標は写真展の開催だ。エプソンイメージングギャラリー エブサイトでは、公募写真展も開催している。



#### 「エプソンのフォトポータル」で写真プリントを極める！

プリント設定からレタッチ、用紙の知識、便利なソフトウェアまで、役立つ情報を満載したWebサイトが「エプソンのフォトポータル」だ。フォトコンテストやセミナー情報も掲載され、写真プリントをもっと楽しみたいなら要チェックだ。



[epson.jp/katsuyou/photo/](http://epson.jp/katsuyou/photo/)

今回はエプソンのColorio V-edition EP-10VAによるプリントづくりを吉住志穂カメラマンが紹介します。



#### 他社製用紙を登録すれば作品づくりに生かせる

Epson Print Layoutにはサードパーティー製の用紙のICCプロファイルと用紙設定の組み合わせを登録可能。エプソン純正用紙と同様に用紙選択画面から選ぶだけでプリントでき、作品づくりの自由度が広がる。

#### 写真を楽しむスタイルに合った写真高画質プリンターが見つかる！

##### 写真プリントから日常使いまで大活躍 Colorio V-edition EP-10VA



低印刷コストと写真高画質を両立したA3複合機。染料6色インクにより鮮やかな再現が可能。コピー・スキャン機能も搭載され、パソコンを使わず作品づくりが楽しめる。

##### A3ノビの迫力を鮮やかな色彩で楽しむ Colorio V-edition EP-50V



迫力のA3ノビプリントをコンパクトボディで実現。染料6色インクにより、鮮やかな風景からモノクロ写真まで高画質にプリントできる。低印刷コストを実現している。

##### 写真プリントから日常使いまで大活躍 Epson Proselection SC-PX5V II



最高峰の画質を誇るA3ノビ対応モデル。ブラック、グレー、ライトグレーを加えた顔料8色インクにより高画質を追求。多彩な用紙との親和性が高く、厚紙やロール紙にも対応する。

### 写真がうまくなる

### 1 プリントでセレクトすると写真の良さが一目でわかる

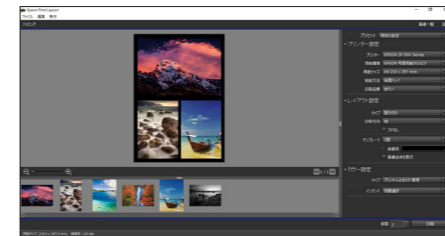


#### プリントを観察して作品のイメージを固める

写真をパソコンのモニターで見ているだけでは、イメージした作品を作り上げることは難しい。まずはインデックスプリントや小さなプリントを作り、じっくり観察することが大切。プリントすることで作品の構成やレイアウトもイメージしやすくなる。

### 2 『Epson Print Layout』で作品力がさらにアップするフチ付きプリントを楽しもう！

#### プラグインソフトで思いどおりにプリント



Adobe PhotoshopやLightroom、ニコンView NX-i、SILKYPIXから思いどおりにプリントできるプラグインソフト。写真の割り付けやフチの設定も自由に可能。用紙の種類やサイズなどのプリンター設定を確認でき、印刷ミスを防ぐことができる。



カラー設定からモノクロ写真をカンタンに仕上げることが可能。冷黒調や温黒調、セピアなどの色調調整も手軽にできる。フチの太さや色も自由に設定可能だ。



#### フチを付けて印象的な作品に仕上げる

プリントにためのフチを付けると作品としての見栄えがアップする。そのまま壁に貼っても額縁に入れた写真のようでオシャレだ。黒フチを付けるとポジフィルムのような引き締まったイメージを再現できる。

写真がセレクトできたら、写真編集ソフトを使ってレタッチし、イメージした写真に近づけよう。プラグインソフトの「Epson Print Layout」を使えば、写真を自由に割り付けでき、フチの太さや色も思いどおりに設定可能。また、モノクロ写真やポジフィルム調のプリントも手軽に楽しめる。

高品位な作品プリントを目指すなら用紙にもこだわりたい。定番の写真用紙だけでなく、フォトマット紙やファインアート紙、他社製の用紙も試してみよう。紙の色や表面のテクスチャー、厚みなどによって仕上がりが変わり、これまでとは違った自分だけの表現に出会えるかもしれない。用紙選びをとことん楽しむなら、用紙の選択肢が広がる顔料インクを搭載したSC-PX5V IIがオススメだ。

傑作が仕上がったら写真展の開催も視野に入れよう。作品を展示して人に見てもらうことは、大きな醍醐味である。見に来た人とのコミュニケーションが生まれ、写真ライフが大きく広がるはずだ。

作品プリントに挑戦するなら、インデックスプリントや小さなプリントを作ってよく観察しよう。パソコンのモニターで見ているだけでは、写真の善し悪しは判断できない。実際にプリントしてみるとイメージしていたものと違うことがよくあるはず。プリントしてみても初めて気付く部分もあり、作品づくりのイメージが膨らむ。写真をプリントすることが、写真がうまくなる近道ともいえる。

写真がセレクトできたら、写真編集ソフトを使ってレタッチし、イメージした写真に近づけよう。プラグインソフトの「Epson Print Layout」を使えば、写真を自由に割り付けでき、フチの太さや色も思いどおりに設定可能。また、モノクロ写真やポジフィルム調のプリントも手軽に楽しめる。

#### プリントすることで写真ライフがさらに楽しく